

「経営の健全化のための計画」

(金融機能の早期健全化のための緊急措置に関する法律第5条)

の履行状況に関する報告書

(貸出金の推移)

平成12年6月

中央三井信託銀行株式会社

「貸出金の推移（実勢ベース（インパクトローンを除く）」について

<旧三井信託銀行分>

12年3月末の実績等の状況

・国内貸出

年度を通じて積極的な貸出運営を実施、円滑な資金供給に全力を挙げて取組んだ結果、中小企業向け貸出の伸長に加え、個人向け貸出も概ね順調に推移したことにより、大企業を中心とした資金需要の低迷、リストラに伴う有利子負債返済圧力等はあったものの、国内貸出の12年3月末残高は8兆395億円と11年3月末実績比1,252億円の増加となりました。

・中小企業向け貸出

中小企業向け貸出については、最注力分野の一つとして全店を挙げた積み上げ活動に最大限の努力を払った結果、12年3月末残高は2兆5,964億円と11年3月末比784億円増加しましたが、年度の増加計画1,620億円に対しては836億円下回る実績となりました。

しかし、不良債権処理の一環として中小企業子会社宛貸出を親会社宛貸出に振替えたことによる減少分を加味すれば、実質的には11年3月末比1,702億円の増加となり、年度の増加計画を上回りました。

下半期の増加状況及びその要因

・国内貸出

下半期は、上半期から展開してきた中小企業を中心とした資金需要獲得活動の成果が徐々に表れてきたこと、活動・運営面での一層の強化を図ったこと等により、中小企業を中心に大幅に増加しました。

また、住宅ローンを中心に重点分野として注力している個人向け貸出は、他行競合が激化する中、不動産業者に対する一層のセールス強化等により概ね順調に伸長しました。

この結果、下半期の国内貸出は、2,146億円の増加となりました。

・中小企業向け貸出

下半期は上半期の実績を踏まえ、

- ・スプレッド貸も業績評価の対象に追加する等、業績評価基準の機動的見直し実施
- ・各種資金需要に対する肌理細かな対応
- ・全国ブロック別支店長会議を頻繁に開催し、トップセールス強化を指示する等活動面の一層の強化

等の施策を講じ確実な案件取込みに全力を挙げた結果、1,598億円の増加となりました。

その他

3月にベンチャーキャピタル子会社を設立し、第一号投資事業組合ファンドとして50億円を出資する等、貸出業務以外にも中小企業に対する信用供与の円滑化に資する施策を着実に実行しました。

<旧中央信託銀行分>

12年3月末の実績等の状況

・国内貸出

法人新規先の開拓に努める等、年度を通じ積極的な貸出運営を強化した結果、中小企業向け貸出が大幅に伸長したことに加え、大・中堅企業向け貸出等も増加し、12年3月末残高は4兆7,779億円と、11年3月末比1,681億円の増加となりました。

・中小企業向け貸出

拓銀承継店舗との人事交流により中小企業取引ノウハウを全店に浸透させたほか、中小企業向け貸出に関する営業店業績評価項目を新設する等、重点的な推進施策を実施した結果、12年3月末残高は1兆9,249億円で11年3月末比1,037億円増加し、年度の増加計画701億円を336億円上回る達成状況となりました。

下半期の増加状況およびその要因

・国内貸出

下半期についても、中小企業向け貸出を中心に順調な積み上げを図り、他行競争の激化等はあったものの530億円の純増を確保しました。

・中小企業向け貸出

下半期についても、最注力分野として引き続き拓銀承継効果の活用や新規先開拓を積極的に推進した結果、389億円の増加となりました。

その他

貸出業務以外にも、企業の資金調達ニーズに多面的に応えるべく、売掛金債権等の流動化や株式公開支援等の分野についても積極的に取り組みました。

貸出金の推移
(残高)

(億円)

		11/3月末	11/9月末	12/3月末	12/3月末	末平比率 (注2)	備考 (注3)
		実績 (A)	実績 (B)	計画 (C)	実績 (D)		
国内貸出	インパクトローンを含むベース	72,535	70,446	79,712	71,579	101.9%	
	インパクトローンを除くベース	71,503	69,685	78,553	71,009	102.0%	
中小企業向け(注1)	インパクトローンを含むベース	19,019	16,898	21,445	18,107	106.4%	
	インパクトローンを除くベース	18,489	16,477	20,580	17,773	106.8%	1
うち保証協会保証付貸出		0	0	0	0		
個人向け		13,749	14,228	15,436	14,785	101.6%	2
うち住宅ローン		7,724	8,470	9,600	9,226	102.5%	
その他		39,767	39,320	42,831	38,687	99.8%	
海外貸出		5,340	3,935	4,082	3,341	93.6%	3
合計		77,875	74,381	83,794	74,920	101.4%	

(同・実勢ベース<下表の増減要因を除く>)

(億円)

		11/3月末	11/9月末	12/3月末	12/3月末	備考 (注3)
		実績 (A)+(E)	実績 (B)+(E)+(F)	計画 (注4)	実績 (D)+(E)+(H)	
国内貸出	インパクトローンを含むベース	80,258	79,102	86,531	81,060	
	インパクトローンを除くベース	79,143	78,249	85,372	80,395	4
中小企業向け (注1)	インパクトローンを含むベース	25,793	24,879	27,729	26,393	
	インパクトローンを除くベース	25,180	24,366	26,864	25,964	5

(注1) 中小企業とは、資本金1億円(但し、卸売業は30百万円、小売業、飲食業、サービス業は10百万円)以下の会社または常用する従業員300人(但し、卸売業は100人、小売業、飲食業、サービス業は50人)以下の会社を指す。

(注2) 末平比率は月末残高 / 月中平均残高。

(注3) 備考欄にマークを付した部分の状況説明は別紙にまとめて記載。

(注4) 承認された健全化計画より引用。

(参考)

尚、不良債権処理の一環として中小企業子会社宛貸出から親会社宛貸出への振替要因を加味した実態は、以下の通り。

11年度増加 計画	11年度増加 実績	計画比
1,620	1,702	82

(不良債権処理等に係る残高増減)

(億円 ()内はうち中小企業向け)

	10年度中 実績 (E)	11年度 上期実績 (F)	11年度中 計画 (G)	11年度中 実績 (H)	備考
貸出金償却	650(597)	246(177)	120(120)	319(244)	
CCPC向け債権売却額	8(8)	0(0)	0(0)	0(0)	
債権流動化(注1)	176(130)	-116(0)	0(0)	-154(0)	
会計上の変更(注2)	3,691(3,151)	385(361)	0(0)	810(503)	
協定銀行等への資産売却額(注3)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
その他不良債権処理関連	3,198(2,888)	418(669)	0(0)	783(765)	
計	7,723(6,774)	933(1,207)	120(120)	1,758(1,512)	6

(注1) 一般債権流動化のほか、債権の証券化を含む。

(注2) 会計方法の変更により資産から控除される間接償却部分等。

(注3) 金融機能の再生のための緊急措置に関する法律第53条で定められた協定銀行等への債権売却額。

1 中小企業向け（インパクトローンを除く表面ベース）

中小企業向けの12/3月末末平比率は、106.8%と国内貸出の102.0%に比べ高くなっておりませんが、これは大企業が大口回収により減少したのに対し、中小企業は期中を通じた増強活動の結果、3月の新規取組が多く、大口貸出を中心に実行が月末に集中したことによるものです。

2 個人向け貸出

12/3月末は11/3月末比1,036億円の増加となりました。うち住宅ローンについては1,502億円の増加となっております。借り換え需要の減少および低金利下における手元余剰資金による繰上げ返済等がありましたが、新規住宅購入者向けの住宅ローンを中心に不動産業者へのセールス強化等積極的な展開を図り、概ね順調に推移しました。

3 海外貸出

12/3月末は、海外撤退方針に基づき回収に注力した他、バルクセールによる前倒し処理も実施した結果、11/3月末比1,999億円の減少となりました。

4 国内貸出（インパクトローンを除く実勢ベース）

11年上期の894億円という結果を踏まえ、健全な企業に対する貸出資産の積上げ活動を一層強化した結果、資金需要の低迷、他行との競合激化等あったものの、12/3月末は11/3月末比1,252億円の増加となりました。

5 中小企業向け（インパクトローンを除く実勢ベース）

最注力分野の一つとして全店を挙げた積み上げ活動に最大限の努力を払った結果、12/3月末は11/3月末比784億円増加しましたが、年度の増加計画1,620億円に対しては836億円下回る実績となりました。しかし、不良債権処理の一環として中小企業子会社宛貸出を親会社宛貸出に振替えたことによる減少分を加味すれば、実質的には11/3月末比1,702億円の増加となり、年度の増加計画を上回りました。

6 その他不良債権処理関連

11年度は、貸出金償却、債権放棄等、前倒し処理の実施も含め、当初計画を上回る不良債権処理を実施しました。

貸出金の推移
(残高)

(億円)

		11/3月末	11/9月末	12/3月末	12/3月末	末平比率 (注2)	備考 (注3)
		実績 (A)	実績 (B)	計画 (C)	実績 (D)		
国内貸出	インパクトローンを含むベース	44,224	44,892	46,429	45,001	99.7%	
	インパクトローンを除くベース	44,085	44,782	46,224	44,908	99.7%	
中小企業向け(注1)	インパクトローンを含むベース	16,603	16,832	17,787	17,014	101.4%	
	インパクトローンを除くベース	16,541	16,783	17,674	16,978	101.4%	
うち保証協会保証付貸出		318	371	381	417	105.0%	
個人向け		7,261	7,440	7,801	7,656	101.9%	1
うち住宅ローン		2,302	2,364	2,709	2,428	101.2%	
その他		20,360	20,620	20,841	20,331	97.5%	
海外貸出		1,194	554	1,131	415	97.0%	2
合計		45,418	45,446	47,560	45,416	99.7%	

(同・実勢ベース<下表の増減要因を除く>)

(億円)

		11/3月末	11/9月末	12/3月末	12/3月末	備考 (注3)
		実績 (A)+(E)	実績 (B)+(E)+(F)	計画 (注4)	実績 (D)+(E)+(H)	
国内貸出	インパクトローンを含むベース	46,258	47,384	48,226	47,897	
	インパクトローンを除くベース	46,098	47,249	48,021	47,779	3
中小企業向け (注1)	インパクトローンを含むベース	18,295	18,934	19,264	19,310	
	インパクトローンを除くベース	18,212	18,860	19,151	19,249	4

(注1) 中小企業とは、資本金1億円(但し、卸売業は30百万円、小売業、飲食業、サービス業は10百万円)以下の会社
または常用する従業員が300人(但し、卸売業は100人、小売業、飲食業、サービス業は50人)以下の会社を指す。

(注2) 末平比率は月末残高/月中平均残高。

(注3) 備考欄にマークを付した部分の状況説明は別紙にまとめて記載。

(注4) 承認された健全化計画より引用。

(不良債権処理等に係る残高増減)

(億円 ()内はうち中小企業向け)

	10年度中 実績 (E)	11年度 上期実績 (F)	11年度中 計画 (G)	11年度中 実績 (H)	備考
貸出金償却	352(266)	204(182)	204(81)	350(257)	
CCPC向け債権売却額	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
債権流動化(注1)	-57(0)	0(0)	0(0)	-200(-200)	
会計上の変更(注2)	1,372(1,208)	119(95)	35(14)	283(249)	
協定銀行等への資産売却額(注3)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
その他不良債権処理関連	367(218)	135(133)	12(12)	429(298)	
計	2,034(1,692)	458(410)	251(107)	862(604)	5

(注1) 一般債権流動化のほか、債権の証券化を含む。

(注2) 会計方法の変更により資産から控除される間接償却部分等。

(注3) 金融機能の再生のための緊急措置に関する法律第53条で定められた協定銀行等への債権売却額。

1 個人向け貸出

12 / 3月末は11 / 3月末比 395億円の増加となりました。うち住宅ローンは126億円増加しております。

低金利局面の長期化に伴い、借換え案件の減少や手元資金での繰上弁済増加が当初見込み以上となりましたが、顧客ニーズに沿ったローンの商品性改善等の施策を一段と強化したほか、拓銀承継店舗の営業体制整備が進んだ結果、概ね順調に推移しました。

2 海外貸出

海外支店閉鎖に伴う資産処分等により、12 / 3月末は11 / 3月末比 779億円の減少と、当初計画を超える減少となりました。

3 国内貸出（インパクトローンを除く実勢ベース）

下期は、他行競合激化等もあった中、上期に引続き中小企業向け貸出を中心に、法人新規先の開拓を積極的に進める等資金需要の掘り起しに特に注力しました。

この結果、12 / 3月末は11 / 3月末比 1,681億円の増加となりました。

4 中小企業向け（インパクトローンを除く実勢ベース）

中小企業向け貸出については、営業店業績評価項目を新設する等、重点的な推進体制を敷いたことに加え、拓銀承継店舗との人事交流活発化による中小企業取引ノウハウの全店への浸透等も奏効し、12 / 3月末は11 / 3月末比1,037億円増と年度の増加計画701億円を達成しました。

5 不良債権処理等に係る残高増減

11年度は貸出金償却のほか債権放棄およびそれに伴うプロラタ返済等、前倒しでの償却等を進めた結果、当初計画以上の不良債権処理を実施しました。